

羽田澄子 監督作品

長編記録映画

歌舞伎役者

片岡仁左衛門

人間国宝 十三代目・片岡仁左衛門

(1903—1994年)
最晩年の7年間に迫るドキュメンタリー

全六部
上映



せんだいメディアテーク
7Fスタジオシアター



第六部「登仙の巻」より

7/14 (金) 第一部 午前10時 第二部 午後12時30分 第三部 午後14時20分

15 (土) 第四部 午前10時 第五部 午後12時35分 第六部 午後14時10分

◆ 十三代目 片岡 仁左衛門 本名：片岡千代之助 (かたおか ちよのすけ)

1903年東京生まれ、十一代片岡仁左衛門の養子に入る。1905年に京都南座で初舞台を踏み、1912年以降は片岡少年劇で活躍。1924年四代片岡我當を襲名。この前後から東京を中心に活動し、九代團十郎の芸系を受継ぐ七代市川中車に学ぶ。1932年から七年にわたり青年歌舞伎を結成し座頭をつとめる。1939年から上方歌舞伎へ移籍、1951年には十三代片岡仁左衛門を襲名。この頃から関西歌舞伎の凋落いちじるしく、二代中村鴈治郎、三代實川延若らとともに自主公演の会「七人の会」をたちあげる。伝統の灯火を守ることを決意し「仁左衛門歌舞伎」と称し1962年以降は、五回にわたって自主公演を決行。関西歌舞伎界に与えた影響はきわめて大きい。また高校生を対象とする歌舞伎教室を開催したり、上方の若手役者による「若鮎の会」を主宰するなど人材育成にも努めた。1966年『廓文章』（吉田屋）の伊左衛門あたりから好劇家から高い評価を受け始め演技に変化がおとずれる。七十代の後半から八十代に至って飛躍的に芸が深化し、一躍名優の列に加えられることになった。最晩年の品格高い演技を賞賛する者は今でも少なくない。1972年重要無形文化財保持者（人間国宝）、日本芸術院賞受賞。1981年国立劇場の『菅原伝授手習鑑』の菅丞相は「神品」とまで絶賛される。晩年には緑内障の影響で失明状態であったが生涯舞台に立ちつづけた。1992年文化功労者。1993年12月の京都南座における『八陣守護城・御座船の段』の佐藤正清が最後の舞台となり、1994年3月26日京都で死去。

入場料 /一部につき 前売券1000円 当日券1300円 /全六部観賞券 5000円 (主催・関) 右岸の羊座シネマテーク

◆前売券 取り扱い◆

070 - 5323 - 1939 大石

・メディアテーク 1F ショップ「KANEIRI Museum Shop 6」「桜井薬局セントラルホール」

加成 (公財) 宮城県国際化協会 当基金は平成25年度より公益財団法人に移行し、「公益財団法人未来の東北博覧会記念国際交流基金」と改称しました。



「仁左衛門丈の芸談をきく会」の様子

それぞれにテーマが込められている内容ですので、一部だけをご覧いただいても十分に見応えは感じられると思いますが、全作品ご覧頂けるまたとない機会です。ぜひお見逃になりません様に、ご参加下されば幸いです。
-右岸の羊座シネマテーク-

全六部
上映

10時間46分 超大作



「菅原伝授手習鑑 普丞相」

第一部「若鮎の巻」(102分) 1987年上方若手歌舞伎俳優の集い「若鮎の会」の自主公演にあたって、舞台監修の仁左衛門演技指導の記録。



「楼門五三桐 五右衛門」

第二部「人と芸の巻 上」(94分)

84歳から88歳までの折々の舞台、芸談、生活を記録したもの。

第三部「人と芸の巻 中」(101分)

1988年歌舞伎座百年の記念公演「菅原伝授手習鑑」の舞台稽古。

第四部「人と芸の巻 下」(105分) 「芸談をきく会」における仁左衛門の貴重な芸談や、長男・我當、次男・秀太郎、三男・孝夫(後の十五代仁左衛門)、五女・静香、妻・喜代子のインタビューを伝える。

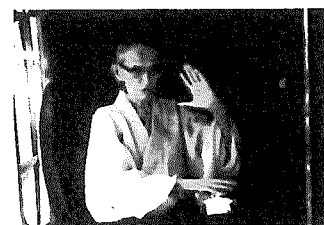


「新口村 孫右衛門」

第五部「孫右衛門の巻」(86分)

1989年歌舞伎座での『恋飛脚大和往来』の稽古と舞台の様子を伝える。

第六部「登仙の巻」(158分) 88歳から90歳亡くなるまでの舞台、生活の記録。最後の舞台となった『八陣守護城』の佐藤正清役の演技を伝える。



京都の自宅での様子



羽田澄子 1926年旧満州大連生まれ。1945年自由学園を卒業、50年に設立された岩波映画製作所に入社、編集に携わる。その後1957年「村の婦人学校」で監督デビュー。以来80本以上の作品を手がけている。1977年「薄墨の桜」、1982年には「早池峰の賦」1986年「痴呆性老人の世界」を完成させ数々の受賞を受ける。2001年には女性解放運動に奔走した平塚らいてうのドキュメンタリー「元始、女性は太陽であった 平塚らいてうの生涯」を製作。数少ない日本の女性ドキュメンタリー監督としての地位を確立する。

会場

せんだいメディアテーク 仙台市青葉区春日町2-1

◆交通アクセス

◎地下鉄 南北線勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩6分(約450メートル)。

◎バス

仙台市営バス 仙台駅前-60番(仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行き(系統番号がJまたはXで始まるバス)で約10分、メディアテーク前下車。

◎駐車場、駐輪場有り

